

専門看護師・認定看護師

クローバー通信

2023. 6 Vol. 120

今回のテーマは

薬物療法中の頭皮・髪の毛のケアについてです

がん化学療法看護認定看護師 下田純子が担当します。

がん看護外来でも、ご相談をお受けしています。

ご相談がある方は、お声がけ下さい。

なぜ脱毛は起きるのでしょうか？

がん薬物療法は、がん細胞の細胞分裂を抑えることによって、がんを退治しようとするものです。その過程の中で正常な細胞分裂も一緒に抑えてしまうので、薬剤等の影響で骨髄や毛根、爪などに副作用が出現し、脱毛や皮膚障害が起こりやすくなります。薬剤の種類によっても、個人差があります。

①脱毛前の準備

髪をカットし・ウィッグ帽子を用意しましょう

リーズナブルでスタイリッシュなウィッグを購入してみましょう。簡単に着用できる帽子型のウィッグや襟足だけのウィッグと帽子もあります。

また、ウィッグを美容師さんにカットしてもらい自分用にアレンジするのもよいでしょう。



②脱毛中のケア

使い捨てキャップを用意

抗がん剤投与後10日ぐらいから脱毛が始まります。髪が抜けきるまでの約1週間の間に、抜けた髪が散らばるのを防ぐ為、使用することも効果的です。(ローソンで購入できます。)

頭皮は清潔にしましょう
シャンプーをする時は、よく泡立て、頭皮につけて優しく洗いましょう。
十分な泡立てとすすぎがポイントです。



③脱毛後のケア

頭皮を保護しましょう

リラックス時や就寝時に使う柔らかな素材でできた帽子の用意があると便利です。

毛染めについては、頭皮に刺激があるので、注意が必要です。美容師さんに相談しながら、注意深く行いましょう。

承認

6月1日～7月31日迄

管理責任者

担当 がん化学療法看護認定看護師 下田 純子